

Rotary Club of AMA weekly report.



2018~2019年度 国際ロータリーテーマ
**インスピレーションに
なるう**

事務所 〒453-0015 名古屋市中村区椿町17番16号 丸元ビル
TEL(052)451-6617 FAX(052)451-6710 e-mail: kk01-ama@eos.ocn.ne.jp



2018-2019年度
RI会長 バリー・ラシン
第2760地区ガバナー 村井 総一郎
会長 大竹 敬一
副会長 家田 安啓
幹事 加藤 徹

例会日 毎週月曜
例会場 名鉄グランドホテル

【会報委員会】
委員長 山田 広明・神戸 剛
伊藤 英毅・山田 幸治

2019年1月21日（晴れ） 第2週 第2259回例会

Song ” 日も風も星も ”
Visitor 和田典之ガバナー補佐・江川泰彦君
(名古屋清須RC)

Attendance

会員	78名	欠席	8名	出席率	87.88%
----	-----	----	----	-----	--------

12月分修正出席率の報告

12月 3日出席率	100%	欠席	0名
12月10日出席率	100%	欠席	0名
12月22日出席率	100%	欠席	0名

President Time 大竹敬一 会長



今日は、西尾張分区の和田ガバナー補佐と、江川IM実行委員長がゲストとしてお越しいただいています。後ほど、IMの事などをお話しいただきたいと思います。ようこそお越しくださいました。

さて、昨年の例会で今年からは会長挨拶で個人的な経験や、考えについてもお話をさせていただくと申し上げました。先週13日から20日まで、私はベトナムに行ってきました。ホーチミン3泊、ハノイ2泊、ハノイの北のランソンで1泊の旅でした。ランソンでは中国との国境まで行ってみまし

た。目的は、日本の中小企業が開発途上国で相手国のためにもなるビジネスを展開する際にその調査費用などを補助するJICAの「案件化調査」というのに弊社も申請しようという事になり、その下調べでした。この申請も、もともと何十年もお付き合いのある、ベトナム出身の元JICA職員のハイさん（日本名：桜井さん）からの提案です。

次期田中年度では、国際奉仕事業に、グエン・シン・コンとの関係もあり、ベトナムを検討しておられるとお聞きしましたので、今日は私とベトナムとの関りについて、お話しします。私が大学を卒業してアメリカに遊学していた時に、確かソンポイという名前のベトナムから来ていた医学生と知り合いました。中部経済新聞の「出会いその時」という特集にも書いたことがあるのですが、彼は優秀だけでなく、話も面白く料理も上手でした。ベトナム風の焼きそばは絶品でした。単純な私はベトナムが好きになり、将来何かベトナムと関わりたいと思ったものでした。その後、青年会議所の理事長時代にメイン事業の一つに国際貢献ミッションというのを掲げました。委員会に行き先をお任せした結果、その年はタイに行くことになったのですが、「本当はベトナムに行きたかった」とつぶやいたのを、次の理

Today	1月28日（第2260回）
担当	大西晃弘 職業奉仕委員長
演題	職場訪問「航空自衛隊小牧基地見学」 職業奉仕委員会
Next Week	2月 4日（第2261回）
担当	大竹敬一 会長
演題	クラブアッセンブリー 委員会中間報告

事長が実践してくれて、5年ほど継続事業となり、その後も有志で毎年ホーチミンを訪問していました。ベトちゃん、ドクちゃんがいたツーズ病院に注射針を寄付したり、ストリートチルドレンを集めた施設に文房具や職業訓練設備を寄付したりしました。ベトナムの人たちの印象は、勤勉で誠実、時間や約束をよく守り、日本人と精神的によく似ていると感じました。グエン・シン・コン君を観ていただければよくわかると思います。

50周年が終わり、今年度が終わったら、ロータリークラブの余生を静かに過ごそうと思っていますが、もし田中年度でベトナムに行かれるようなことがあれば、これだけは是非一緒させていただきたいと思っています。

Secretary Report

加藤 徹 幹事

- 1 次週1月28日例会は職場例会となります。11時に名鉄GHロビーに集合です。お間違えなきようお願いいたします。
- 2 第23回クリーンコミュニケーションin大江&蟹江川のご案内
日時 2月3日(日) 雨天決行 8:30集合
場所 大嶽名西生コン駐車場
※汚れても良い服装、軍手、長靴当でお願いします。



卒寿お祝い 後藤袈裟美君、木下章吉君

傘寿お祝い 柏子見昌敏君

古希お祝い 栗木和夫君、東海広光君

還暦お祝い 三木勝也君、中澤浩一君



和田ガバナー補佐と江川IM実行委員長がIMのPR

ニコボックス

ご投函有り難うございます

和田典之ガバナー補佐・江川泰彦君(名古屋清須RC)

IMのお願いに参りました。

大竹敬一 会長

和田ガバナー補佐、江川IM実行委員長、ようこそお越し下さいました。

年男放談、楽しみにしています。

家田安啓 副会長

渡辺均君、大変お世話になりました。

加藤 徹 幹事

パートナーが死んでしまってから元気がなかった飼猫が、やっと持ち前のやんちゃさを取り戻しました。ほっとしています。

古川 宏君

本日、スピーチをさせていただきます。

前田重廣君

いつもご苦労様です。今年も頑張りましょう。

山田幸治君

白内障の手術をしました。まだ左目だけです。今月29日に右目の手術です。

神戸 剛君

ニコボックスの皆さん、ご苦労様です。

黒野晃太郎君

遅ればせながら、熱田神宮へ。人出の多さにびっくり。おみくじ大吉、気分良く「ぜんざい」を食してきました。

合計 75,000円

山田尊久君

昨日、津のアストホールで「建築と環境と人間」という話を聞きました。若い建築家の発想にびっくりしました。

横井久雄君

青本君、NPO法人元気大治まちづくり設立10周年記念として、大治町魅力発見フォトコンテスト開催、見事最優秀（町長賞）受賞おめでとうございます。テーマ「大治町こんなに近い名古屋駅」として、老人ホーム屋上から名駅周辺の高層ビル群を撮ったものです。

青本道春君

横井君、紅葉有り難うございました。さっそく我が家の門の側に植えました。2年前にもらった20本は、今年見事に全て紅葉しました。

紅谷幸政君

本日年男放談、よろしくお願いします。

後藤袈裟美君

ニコボックスの皆さん、ご苦労様です。

神田康史君

孫が生まれました（3人目）。男の子でした。益々嬉しく思います。祖父として襟を正さなければ…。

水野 眞君

銀の鈴合唱団20周年記念コンサート、200名大合唱で終わりました。

中澤浩一君

ニコボックスの皆さん、ご苦労様です。

大西晃弘君

次週は小牧基地職場訪問です。ご参加の皆様、よろしくお願い申し上げます。

酒井和雄君

歴代会長インタビュー、池崎さん、ご苦労さん。

高山 敏君

ニコボックスの皆さん、ご苦労様です。

田中正博君

今日、年男放談です。楽しみにしています。

谷口充子君

青本君、素敵な写真でコンテストの最優秀賞、おめでとうございます！

年 男 放 談

古川 宏君



1. 会社の仕事が缶詰めの製造業であること。
2. 昭和60年より65年まで、学生として米国に滞在。その間、ホームステイ先の奥方の妹のハズバンドが、映画ウェストサイドストーリーのプロデューサーで、自宅に良く遊びに行きました。その時丁度、コンダクターのレナード・バーンステインに何度かお目にかかる。ウェストサイドの音楽を担当された作曲家兼ピアニストでもあった。

紅谷幸政君



私は平成6年3月に、加藤憲治会員がスポンサーで入会させていただいて25年が経ちました。職業分類は集成材製造で木材業です。生年月日は昭和22年12月16日生まれで、いわゆる団塊の世代です。昭和22・23・24年生まれの人口は、全体の約1割で約1200万人です。この第1次ベビーブーム世代の消費行動が、少なからず日本経済に影響を与

えてきました。

今年の干支の「亥」は、植物が実をつけ、エネルギーを凝縮、蓄積している様子を示しているそうです。過去の亥年では昭和34年は岩戸景気の最中で、「満員は美德」という言葉が生まれた。昭和46年は、米国がドルと金の交換停止を発表した。「ニクソン・ショック」の影響が懸念されたものの、輸出の拡大のおかげで景気拡大に向かった。昭和58年では、第2次オイルショックを契機とした長い景気後退から回復局面に転じた年でした。また平成7年の年頭には、阪神・淡路大震災や、1ドル79円まで急激な円高の影響により、景気低迷を余儀なくされた。平成19年には、米国のサブプライムローン問題に端を発したいわゆるリーマンショックや原油等の高騰で、景気低迷が続いた。2019年は「繁栄の中で新たに生じた課題を整理し、解決の道筋を立てると共に、一層の成長に向けて力を蓄える年」で、企業経営にとっては自社の経営課題や、事業の成長性を見つめ直し、更なる飛躍を目指した基盤固めを行う年であるといえる。

三木勝也君



皆様こんにちは、三木勝也です。今年1月2日で満60歳となりました。サラリーマンとして節目の年であり感慨深いものがございます。ところで、今から10年前2009年1月15日15時30分に発生しました出来事と言えば、皆様お心当たりはございますでしょうか？後に「ハドソン川の奇跡」と呼ばれる航空機事故が発生したのがその時刻であります。USエアウェイ航空1549便ニューヨーク発シアトル行きのアエアバスA320は155名の乗客を乗せて離陸、その直後バードストライク（鳥をエンジンに巻き込む）により両方のエンジンの出力が低下するもチェズレイ・サレンバ

ーガー機長は空港に引き返すのは無理と判断し、マンハッタンのど真ん中のハドソン川に緊急着水させ155名全員が無事であったという航空機史上前代未聞の事故が発生しました。なぜ奇跡か、①双発機で両方のエンジンが同時に止まる事態は稀である事。②離陸直後で高度はかなり低く難易度は極めて高い。③人口密集地の緊急着陸で死亡された人はいない。④川への着水の成功例は殆どない。以上4点が奇跡と呼ばれる理由であります。

チェズレイ・サレンバーク機長は操縦歴42年のベテランですが、誰も経験した事のない状況の中、わずか208秒でハドソン川への緊急着水を決断され、着水場所も船着き場の近くに停止させ何十隻ものフェリーや客船が救助に駆けつけ、わずか24分で155名の乗客全員を救助されたのです。サレンバーク機長のようなリーダーこそが私の目標であります。○冷静かつ的確な判断力、○成功への揺るぎ無い自信、○プロとして最後まで成し遂げる責任感、○ベテランと呼ばれてなお訓練や備えを怠らない、○メンバー（スタッフ）への信頼と誇り。まだまだ足元にも及びませんが、こんなリーダーを目指し（もし会社にこれからも雇って頂けるのなら）精進して参りたいと存じます。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。ご清聴ありがとうございました。

竹田竜一郎君



皆様、あけましておめでとうございます。1971年、昭和46年、いのしし生まれの竹田竜一郎です。誠に僥越ではございますが、年男の役得にて少々お時間を頂戴致します。

日常生活で干支に触れることは少なくなったものの、実は身の回りの文化や風習は干支に大きな影響を受けていま

す。例えば、「壬申の乱」「戊辰戦争」「辛亥革命」など歴史上の大きな出来事の呼び方に使われておりますし、高校野球の聖地「甲子園球場」も竣工年の干支「甲子（きのえね）」から命名されたと聞いたことがあります。今回のスピーチを考えておりました年男としての年始に、十二支だけでなく十干（じっかん）を含めた「干支」を色々勉強してみようかと思いついたところがございます。

さて、十二支の殿（しんがり）を務める亥年には、エネルギーをぐっと蓄えて、次の始まりに向けてしっかり準備する年であると言われております。イノシシは、芯の強さが特徴で、裏表なく何事にも熱心。かつ、物事をやり遂げる情熱がある。また、イノシシを神様の使いとする地域もあり、強運であると言われております。更に、イノシシの肉は万病に効果があるとされており、無病息災の象徴でもあります。

また、一口に「いのしし年」と言いますが、2019年の干支は「己亥（つちのとい）」年となります。己（つちのと）と亥（い）は両方ともに、地固め、内需拡大、次の準備の為に足元をしっかりと固めるということだそうです。それらが揃って意味していることは、秩序を見直す。人材育成や設備投資。財務基盤を固める。など、内部の充実を図り、次のステージの準備をすれば、先々に大きなステップアップが望めるという良い年との事ですので、大変楽しみな年だと個人的には思っておりますが、皆様は如何でしょうか。

あまロータリークラブに入会させて頂いて1年半。物心共にご厚情を賜り、皆様に出会えたことを心から感謝致しております。例えば、着る物、履く物、身に付ける物など、見た目でも相手に与える印象の大切さ。社会の中での立ち居振る舞い。奉仕の心の表し方。など、人として大切なことをたくさん吸収させて頂いております。孔子の論語にあります不惑という40歳をとうに過ぎ、間もなく知命である50歳を迎えますが、まだまだ私は未熟者でございます。しかしながら、70歳、80歳になられても背筋をピンと伸ばし、精力的に活動しておられる先輩方と交流させて頂くにつれ、自分の不徳を恥じたり、先輩方がご教示下さる事を学んだり、仲間として奉仕の心を磨いたり、大変充実した日々であり、ロータリアンとして過ごせることは幸せだな。と、改めて思う今日この頃でございます。

平成が終わり新たな時代（元号）となる2019年ですが、考えてみると2020年は「ねずみ年」で新しい12年の始まりとなります。ということは、2020年は新しい時代（元号）

と新しい周期、そしてあまロータリークラブ51年目というトリプルスタートという事になり、己（つちのと）と亥（い）の意味がより強調される2019年なのかもしれません。「次のステージ」を偉大なるステージにする為にも、2019年は夢や目標に向けてインプットをいつも以上に意識しつつ、猪突猛進せず、猪（ちょ）とずつ邁進。で行く所存です。本年も、何卒ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様にとって素晴らしく良い年となります事を祈念致します。ご清聴ありがとうございました。

歴代会長インタビュー

インタビュアー 池崎晴美君

大竹和美 初代会長

今年にあまロータリークラブが50年を迎える記念の年です。例会でも50年を振り返りながら、歴代の会長から順番にインタビューさせていただき3分ほどにまとめ月に2回紹介いたします。先輩方が築いてこられた50年を感じながら例会にご参加いただければ幸いです。

本日は、大竹和美初代会長です。

大竹初代会長は津島クラブから「新しいクラブを作りたい、是非協力を」と熱心な勧誘を受け、2年間津島に在籍し、新しいクラブの発足の為にご尽力されました。大竹会長の熱い思いで25名のメンバーをそろえ昭和44年6月16日創立総会を開催し、あまロータリーの幕開けとなりました。

初代会長が大切にされている、「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」福沢諭吉のこの言葉は、あまクラブの「昨日入った人も、今年入った人も皆平等」を象徴する言葉、年功序列、入会年度などではなく、皆が楽しく、スマートに参加できるクラブにと言う思いが込められています。発足の翌年、会員も40名に増えた昭和45年3月19日名鉄ホール貸し切りで行われたチャーターナイトでこの思いを伝えられると大きな拍手が起こったとお聞きしています。その言葉通りあまクラブは素晴らしいクラブへと成長していきました。

例会の場所についてもお話しくさしました。当時の名鉄グループの総帥土川様と初代会長のご縁で初例会から開

催場所は名鉄グランドホテルとなり、広く会員を集めたいという思い通りに名古屋からの会員も増えていきました。実はマリオットホテルなどができた時に例会場所を移動した他のクラブが4つあったそうですが、あまクラブはご縁を大切に今日まで場所を変えることはありませんでした。余談ですが、移動した他のクラブがその後名鉄グランドホテルに戻ってきたいと言ってもそれを受け入れなかったという事です。

例会のスタイルも、初めから今の様にしっかりとはいなく、毎回津島クラブの幹部が指導、応援に来てくださり、少しずつ今の様な例会が開催されるようになっていきました。

また、大竹初代会長と言えば手品！お人柄と手品であまクラブの名を広められて行きました。

50年の間には、ご自身の会社が大変な時もあり、ロータリーどころではなかったという時期もあったそうですが、振り返ってみると「よ～やってきたな～、全員が本当にようやってきた～」と感慨深げにお話してくださいました。

〇この50年の節目に息子さんが会長を務められることはどう感じておられるかお尋ねしましたら、「あまロータリークラブ、粹なことをするな～」。

〇チャーターメンバー 木下君、田中清隆君、後藤袈裟美君へは、「長生きしてくれな～」。

〇そして、最後に今後のあまクラブへ期待することは、「これからも、スマートで、楽しいクラブづくりをお願いしたい」と締めくくられました。

インタビューは入院先の病室でしたが、大変力強く、また懐かしみながらお答えいただけました。大竹初代会長ご協力ありがとうございました。

ロシア紀行 22

山田幸治君



正面の礼拝堂の造りは、カトリック教会と錯覚するほどです。それは設計者のモンフェランがカトリック教徒だったからだそうです。



天井絵

聖堂の名前のイサクは、ピョートル大帝の誕生日の聖人でビザンチンの修道士イサクを記念して付けられたそうです。南側の入り口から265段の階段をを登り、展望台に出るとサンクトペテルブルク市のパノラマが一望できますが、残念ながら時間がありません。

